令和3年度 秀峰園事業報告

令和4年6月7日 秀峰園 松藤 義徳

1、職員配置

令和4年3月31日現在

管理者 1 サービス管理責任者 1 目標工賃達成指導員 1生活支援員 3(1) 職業指導員 (3) 調理員 (2) 嘱託医 (1)※ ()内の数は非正規職員

2、開所日数・利用者数・出勤率

令和3年度は、27名で始まり、8月に1名入所、10月に1名退所、11月に1名入所となり、最終的に28名の登録となりました。

ですが、長期欠勤者や入院もいたので、出勤率は上がりませんでした。

	開所日数	利用者数	実利用者数	延利用日数	出 勤 率	出勤率(20名)
4 月	23 日	27人	26 人	478 日	77.0 %	103.9 %
5 月	22 日	27 人	24 人	433 目	72.9 %	98.4 %
6 月	2 3 日	27人	26人	460 日	7 4.1 %	100.0 %
7 月	2 3 日	27人	26人	507 目	81.6 %	1 1 0. 2 %
8 月	22 日	28人	27人	502 目	81.5 %	1 1 4 . 1 %
9 月	22 日	28 人	27人	495 目	80.4 %	1 1 2 . 5 %
10月	2 3 日	27人	27人	523 目	84.2 %	1 1 3. 7 %
11月	22 日	28 人	28人	513 目	83.3 %	1 1 6 . 6 %
12月	22 日	28 人	28人	504 目	81.8 %	1 1 4 . 5 %
1 月	22 日	28 人	28人	5 1 7 目	83.9 %	1 1 7.5 %
2 月	2 1 日	28 人	26 人	446 日	75.9 %	106.2 %
3 月	24 日	28 人	27人	510 日	75.9 %	106.3 %
合 計	269 日	331 人	320 人	5,888日	79.4 %	109.4 %

3、平均年齢・平均通所年数 (男 16名 : 女 12名)

 平均年齢
 57.54歳
 (男 57歳
 : 女 58歳
)

 平均通所年数
 13.75年
 (男 13.4年
 : 女 14.1年
)

4、作業支援

縫製班

下請け作業

アンネルについて、布団の側縫い作業の受注を伸ばす事が出来、今年度も、通常作業以外でコロナ感染者に使用するコロナセットを受注し、作業が増え、増収となりました。

盛和について、フレコン(フレキシブルコンテナバック)の部分縫い作業の受注を 安定して受注する事が出来ました。

出勤状況を確認しながら、受注調整をし、利用者に出来る限り作業を提供し納品を行いました。

自主製品

きょうされんふきんについて、夏、冬に大きな受注があり、受注に対応できるふきんの枚数を計画的に作る事が出来ました。今後もふきんのクオリティーを維持しながら、売り上げを伸ばしていけるよう取り組んでいきます。

自主製品(小物)については、販売がない状況だったので、夏、冬の物品販売等で 売っていきましたが、売り上げを伸ばす事は出来ませんでした。

軽作業班

下請け作業

数年間取り組んできた2種類の内職作業は、職員のみの作業が多く、利用者の関わり が少ないものとなった為廃止し、早雲商事より「のし茶分別作業」と新たにアンネルより 「綿取り作業」を取り組みました。

様々な決まり事や確認事項に気をつけながら、利用者全員に作業を提供する事が 出来、毎日安定して作業を行いました。

施設外就労

「リネン作業」「清掃作業」の2種類の施設外就労を取り組んできましたが、7月より 新たに「ベルトコンベア流れ作業」を取り組みました。

3種類とも決められた方法がある事や体力面、外部での作業となる為、挨拶や建物備品の破損等、気を付けなければならない事が沢山ありますが、やり甲斐のある作業として、また、工賃アップにも繋がりました。

リサイクル作業

毎週決められた回収先を訪問しながら、電話による追加先も回収し、安定した回収 量と売り上げを確保しました。雑品を解体選別し、金属や段ボール、新聞、雑誌を業 者へ持ち込み納品し、換金単価が上がった事もあり増収となりました。

回収を通じて、地域の方との繋がりにもなっている大事な作業となっています。

役務

毎年依頼していただくお客様を中心に、紹介等での新規のお客様もあり、今年も安 定した受注がありました。

夏場を中心に受注を受けますが、家の片づけ等、地域の方が困っている事を仕事で受ける事が出来ました。

販売

施設販売については、今年度もコロナで中止でしたが、催事販売については、コロナウイルス感染予防を徹底しつつ、2年振りに11月に2つの販売に参加しました。 道の駅などの委託販売は、安定して売り上げがありましたし、「チョコポン」等、 冬場限定の商品を販売しましたが、売り上げを伸ばす事が出来ませんでした。

加工

「ポンせんべい」を中心に販売や納品に合わせて、質・量ともに生産する事が出来ました。加工に携わる利用者が少ないですが、作業を効率よく行いました。 今後も情報収集しながら、新しい商品を作れるよう取り組んで行きたいと思います。

5、作業班人数及び工賃支払状況

下半期	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
縫製班(9名)	939, 295	175, 956	160, 087	247, 007	171, 286	247, 568	194, 195	2, 135, 394
軽作業班(19名)	1, 692, 510	280, 974	277, 976	527, 995	286, 186	262, 529	282, 229	3, 610, 399
工賃総額	2, 631, 805	456, 930	438, 063	775, 002	457, 472	510, 097	476, 424	5, 745, 793
縫製班 (平均)	18, 786	19, 551	17, 787	27, 445	19, 032	27, 508	24, 274	20, 732
軽作業班(平均)	15, 967	16, 528	14, 630	27, 789	15, 062	14, 585	15, 679	16, 715

6、利用者支援

「仕事をしたい」「少しでも沢山の給料をもらいたい」という思いを大事にし、作業を中心としながらも障害の配慮や見守りを重視しました。また作業以外でも利用者の喜ぶ事、求めている事は何なのかを考え、可能な限り実行したかったのですが、コロナウイルス感染配慮の為、今年度も満足な取り組みを提供する事が出来ませんでした。しかしながら、感染の状況を鑑みながら、買い物等可能な取り組みは少しずつ取り組んでいきました。

長期欠勤、入院、手術もありましたが、秀峰園に元気な限り出勤したいという利用 者が楽しく利用するにはどうすればいいのかを考えながら支援をしました。

病院を通院しても秀峰園を利用出来るよう送迎支援や独居の方も多く、大半が移動 手段もなく、また家族の支援がない為、入院手続きや付き添いも支援しました。市役 所からの書類の説明や提出、手続きや更新の支援も行いました。また、期日前投票や ハローワーク行きの送迎支援行いました。

聾唖者に対しては、手話を使いコミュニケーションを取り、意思の疎通を取る事が 出来ました。

7、生活支援

健康管理

サーマルカメラで毎日検温を行い、喉の痛みや体調不良を毎日確認しました。状態に 違和感がある方には、脇での再検温とPCR検査を受けてもらい、クラスター等発生しないように徹底しました。インフルエンザの予防接種に行けない方は秀峰園で送迎対応しました。また、年2回行っている田川診療所による健康相談で体に対する注意点や改善点を本人と職員に指導していただきました。

医療情報財団による年2回の健康診断は出来る限り受診してもらうよう声掛けをし、 再検査の診断が出た方には病院に行くよう促し、必要ならば家庭に連絡、報告しました。 健康相談や健康診断を通じて、体調や精神状態を把握し、安定を図りながら、秀峰園 に毎日出勤出来るような健康状態を作るよう心掛けしました。

防災管理

年2回の避難訓練(避難誘導・消火・通報)を実施日は伝えず、実際の火災に想定した意味のある避難訓練を行いました。聾唖者7名いますので、サイレンが聞こえないので、秀峰園で設置しているパトライトの点灯を確認出来たか、職員が火事だとスムーズに伝える事は出来たか等、館内放送、避難経路、誘導、避難場所の確認をし、最後は水消火器での消火訓練を行いました。

8、職員研修

利用者に対する支援や食品を扱う上での知識、スキルの習得の場とする事と職務上必要な能力や専門性が身に付くように、また、他業種の考えや情報を得る事により、人間の幅を広げ一層のサービス向上や教育、自己啓発や成長にも繋げていく事を目的に、様々な研修と運動に参加しました。

しかし今年度も、コロナウイルス感染予防の為、中止、延期も沢山ある中、オンライン 参加が中心となりました。

毎日の業務の中で、職員が一番揃う時間として、17時頃毎日終礼を行い、今日一日の報告や明日の予定等を確認しています。月1回の職員会議は職員全員参加し、周知徹底していますし、ケース会議は、3ヶ月ほど使い、利用者の事を掘り下げて全職員でしっかり話しています。

4/28	就労支援部会				
6/23	就労支援部会				
7/28	就労支援部会				
8/4	障害のある子どもの進路説明会、懇談会				
8/19	安全運転管理者講習				
9/11	きょうされん福岡支部 夏の職員学習交流会 Web				
9/22	就労支援部会				
10/2	旧優生保護法福岡裁判学習会				
10/27	就労支援部会				
1 1/3	しあわせの会				
1 1/2 0	ケース会議				
1 1 / 2 4	就労支援部会				
1 2 / 1	サービス管理責任者更新 Web 研修				
1 2/1 8	ケース会議				
1/4	ケース会議				
2/10	筑豊圏地域就労セミナー				
2/24	就労支援部会 Zoom				
2/26	きょうされん九州ブロック オンライン学習交流会				
3/5	きょうされん九州ブロック オンライン学習交流会				
	田川地区障がい福祉セミナー2021				
3/23	就労支援部会 Zoom				

9、行事活動

個別支援計画書や日常でやりたい事、行きたい場所を利用者から意見を吸い上げ、土曜日の取り組みや友の会の行事で、これまでは取り組んできましたが、コロナウイルス感染拡大の為、殆ど活動出来ませんでした。

- 4月 ・バーベキュー
- 5月 · 個別支援計画書説明、秀峰園利用契約更新
- 6月 ・夏の物販 ・健康相談
- 8月 ・大掃除、ボーナス ・健康診断
- 9月 · 避難訓練
- 10月 ・バーベキュー
- 11月 ・冬の物販 ・川崎町バスハイク ・健康相談
- 12月 ・大掃除、ボーナス ・忘年会
 - 1月 ・新年会
 - 3月 ・健康診断 ・友の会総会 ・避難訓練 ・花見

まとめとして

今年度も、コロナウイルスの影響で、様々な余暇活動を中止にせざるを得ませんでした。

そんな中、1月25日に喉の痛みをもつ利用者にPCR検査を受けてもらい、結果が 判明するまで早退し、自宅待機している中で陽性と判明。

関係機関に報告と濃厚接触者の有無。来週からの開所、職員体制等、連絡と調整で大変でした。

その後も続いて、施設外就労先にも感染者が出たり、他事業所のグループホームの同居者が陽性となり、利用者が濃厚接触者になったりと今年度はコロナウイルスで色々な対応に追われました。

施設整備としては、大規模防水工事と太陽光設置が完了し、今後の経費削減と安全に安心して事業を進めていく事が出来ます。